



マーク S. ライオン

国際会長

2026～2027年度



奉仕に根ざして

堂々とそびえ立つオークの木。それは強さと不屈のシンボルです。何事にも動じず、何世代にもわたり人々に勇気を与える揺るぎない象徴として、圧倒的な存在感を放ちます。目的と奉仕に根ざすライオンズは、まさにその大樹のようです。私たちの強さの源は、ただ気高くそびえることにあるのではなく、むしろ、私たちが周囲の世界にもたらす憩いと、恵みと、いのちにあります。

ライオンズクラブは100年以上にわたり、私たちの地域社会とまちを支え、力づけ、奉仕してきました。困難なときに支援を、絶望のときに希望を、最も必要なときに思いやりを届けてきました。奉仕こそが、私たちの組織を育てる土壌です。私たちが寄り添う人生、私たちが変える地域社会、私たちがもたらす影響は、すべてこの土壌の上に実ります。

団結した人たちの底力の象徴となったチャーター・オークのように、今、ライオンズがその真理を体現します。今日もライオンズが誰かに食事を手渡し、どこかで病院を建て、子どもに手を差し伸べています。その一つひとつが、私たちの奉仕が大地に深く、力強く根ざし、末永く続いていくことの証なのです。